

**2024年度(2025年3月期)
第1四半期連結累計期間
(2024年4月～6月)
決算説明資料**

2024年7月25日
FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

© 2024 FDK CORPORATION

2024年度第1四半期決算概要について、ご説明いたします。

1. 2024年度第1四半期の業績	
連結決算のポイント	3
2024年度第1四半期連結決算概要	4
営業利益変動要因(前年同期比)	5
連結貸借対照表	6
セグメント別情報	7
2. 2024年度(通期)見通し	9
3. 参考資料	10
4. トピックス	13

今回ご説明させていただく内容です。

■ 連結全体

売上高：157.9億円(前年同期比：+9.3億円、+6.3%)

電子事業の各種モジュール、スイッチング電源などで減収も、電池事業ですべての製品が増収で、円安による売上増も加わった

営業利益：2.1億円(前年同期比：+3.5億円、黒字化)

電子事業が減益も、電池事業の売上増、原材料価格の変動により、黒字化、さらに円安効果も加わった

経常利益：1.3億円(前年同期比：+0.8億円、+174.7%)

為替差損を計上したものの、営業利益の増加により増益

四半期純利益：0.0億円(前年同期比：+1.2億円、黒字化)

減損損失を計上したものの、営業利益の増加により黒字化

■ セグメント別

電池事業：売上高 前年同期比：+16.7億円、+16.0%

・ニッケル水素電池は海外の市販・工業・車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増収

・設備関連ビジネスは自動車関連設備が堅調で増収

・アルカリ乾電池は増収

電子事業：売上高 前年同期比：△7.4億円、△16.8%

各種モジュールやスイッチング電源などが減収

はじめに、決算のポイントです。

■連結全体の売上高は、電子事業の各種モジュール、スイッチング電源などで減収も、電池事業ですべての製品が増収で、円安による売上増も加わりました。

連結全体の営業利益は、電子事業が減益も、電池事業の売上増、原材料価格の変動により黒字化、さらに円安効果も加わりました。

連結全体の経常利益は、為替差損を計上したものの、営業利益の増加により増益となりました。

連結全体の四半期純利益は、減損損失を計上したものの、営業利益の増加により黒字化しました。

■セグメント別では電池事業は、ニッケル水素電池が海外の市販・工業・車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増収、設備関連ビジネスが自動車関連設備で堅調などすべての製品が増収となり、セグメント全体で前年同期比16.0%増となりました。

電子事業は、各種モジュールやスイッチング電源などが減収となり、セグメント全体で前年同期比16.8%減となりました。

2024年度第1四半期連結決算概要

FDK

(単位：億円)

	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年同期比	
				増減率
売上高	148.6	157.9	+9.3	+6.3%
営業利益(△損失) (営業利益率)	△1.3 (△0.9%)	2.1 (1.4%)	+3.5 (+2.3pt)	—%
経常利益 (経常利益率)	0.4 (0.3%)	1.3 (0.8%)	+0.8 (+0.5pt)	+174.7%
四半期純利益(△損失)※ (純利益率)	△1.1 (△0.8%)	0.0 (0.1%)	+1.2 (+0.9pt)	—%

※親会社株主に帰属する四半期純利益

1株当たり四半期純利益	△3.32円	0.23円	+3.55円
-------------	--------	-------	--------

為替レート	(円/1USD)	135.81円	155.02円	+19.21円
	(円/1EUR)	147.90円	167.03円	+19.13円

ROIC※	△1.0%	0.6%	+1.6pt
-------	-------	------	--------

※ROIC = 税引後営業利益/(自己資本 + 有利子負債)

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

はじめに、連結決算概要です。

■ 円安による売上増に加え、電池事業の売上高は、ニッケル水素電池が海外の市販・工業・車載用途向けの増加やBAOTOU FDK CO., LTD.の売上高も加わったこと、設備関連ビジネスやアルカリ乾電池が増加したことにより、事業全体として増収となりました。電子事業の売上高は、モビリティ・液晶ディスプレイ用途向け各種モジュールやスイッチング電源が減少したことにより、事業全体として減収となりました。

この結果、売上高は前年同期に比べ9.3億円増加の157.9億円となりました。

■ 営業利益は、電池事業は売上増、原材料価格の変動により、黒字化し、さらに円安効果が加わりました。電子事業は売上減により、減益となりました。この結果、営業利益は前年同期に比べ3.5億円改善の2.1億の黒字となりました。

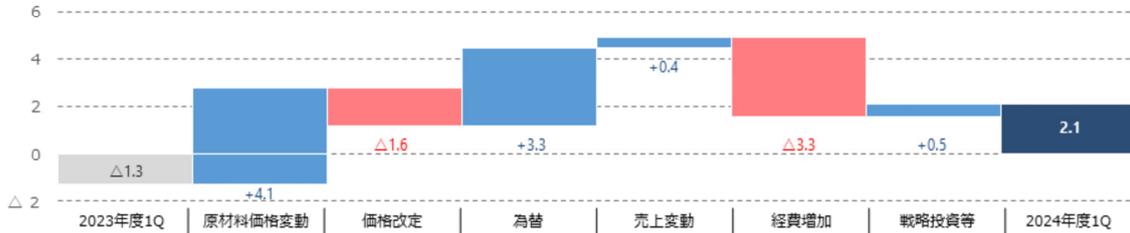
■ 経常利益は、前年同期に比べ0.8億円増加の1.3億円となりました。

■ 四半期純利益は、前年同期に比べ1.2億円改善の8百万円となりました。

■ ROICは、前年同期に比べ1.6pt増の0.6%となりました。

営業利益変動要因(前年同期比)

(単位: 億円)	2023年度1Q	2024年度1Q	前年同期比	
			増減額	増減率
営業利益(営業利益率)	△1.3(△0.9%)	2.1(1.4%)	+3.5(+2.3pt)	-%



次に、営業利益の変動要因です。

■ 全体の営業利益は、原材料価格変動による増益影響がありましたが、価格改定が減益要因となりました。また、為替の好転影響がありました。

経費増加による減益はありましたが、電池事業の売上増による増益があり、前年同期に比べ3.5億円改善の2.1億円の黒字となりました。

■ それぞれの要因が各事業に与えた影響としましては、電池事業では経費増加と価格改定が減益要因で原材料価格変動、為替は好転要因となりました。電子事業では経費削減による好転要因がありましたが、売上変動が大きな減益要因となりました。

連結貸借対照表

FDK

(単位：億円)

科目	2023年度	2024年度 1Q	増減	科目	2023年度	2024年度 1Q	増減
流動資産	365.9	365.1	△0.7	流動負債	342.1	336.5	△5.6
(受取手形及び売掛金)	(161.4)	(169.4)	+7.9	(支払手形及び買掛金)	(108.7)	(105.9)	+2.8
(商品及び製品)	(28.5)	(33.3)	+4.7	(短期借入金)	(144.7)	(147.1)	+2.3
(仕掛品)	(34.3)	(34.9)	+0.6	(その他流動負債)	(25.2)	(16.2)	△8.9
(原材料及び貯蔵品)	(55.9)	(55.5)	△0.4				
(その他流動資産)	(18.6)	(10.8)	△7.8				
固定資産	149.6	150.8	+1.2	固定負債	16.9	15.2	△1.7
(有形固定資産)	(141.5)	(142.5)	+1.4	(退職給付に係る負債)	(7.1)	(6.0)	△1.0
				負債合計	359.1	351.7	△7.3
				株主資本	128.8	128.9	+0.0
				(利益剰余金)	(△449.9)	(△449.8)	+0.0
				その他の包括利益累計額	26.5	34.3	+7.7
				(為替換算調整勘定)	(27.5)	(34.7)	+7.1
				(退職給付に係る調整累計額)	(△1.6)	(△0.9)	+0.6
				純資産合計	156.4	164.2	+7.8
資産合計	515.5	516.0	+0.4	負債純資産合計	515.5	516.0	+0.4
自己資本比率	30.1%	31.6%	+1.5pt	有利子負債残高	145.5	147.8	+2.2

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、連結貸借対照表です。

■ 流動資産は、前年度に比べ0.7億円減少の365.1億円となりました。流動資産減少の主な要因は、商品及び製品、仕掛品などの棚卸資産が増加した一方、未収消費税などのその他流動資産が7.8億円減少したことによるものです。

■ 固定資産は、前年度に比べ1.2億円増加の150.8億円となりました。固定資産増加の主な要因は、現行製品への設備投資により有形固定資産が1.4億円増加したことによるものです。

■ 流動負債は、前年度に比べ5.6億円減少の336.5億円となりました。流動負債減少の主な要因は、未払賞与などのその他流動負債が減少したことによるものです。

■ 固定負債は、前年度に比べ1.7億円減少の15.2億円となりました。固定負債減少の主な要因は、退職給付に係る負債が減少したことによるものです。

■ 純資産合計は、前年度に比べ7.8億円増加の164.2億円となりました。純資産増加の主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が8百万円、為替換算調整勘定が7.1億円、退職給付に係る調整累計額が0.6億円、それぞれ増加したことによるものです。

■ 有利子負債残高は、主に借入金の増加により前年度に比べ2.2億増加の147.8億円となりました。

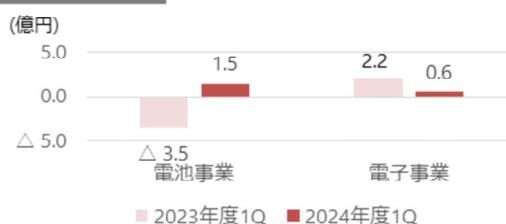
セグメント別情報



売上高



営業利益



(単位：億円)

		2023年度1Q	2024年度1Q	前年同期比	
				増減率	増減率
電池事業	売上高	104.4	121.1	+16.7	+16.0%
	セグメント利益(△損失) (率)	△3.5 (△3.4%)	1.5 (1.3%)	+5.0 (+4.7pt)	—%
電子事業	売上高	44.1	36.7	△7.4	△16.8%
	セグメント利益 (率)	2.2 (5.0%)	0.6 (1.8%)	△1.5 (△3.2pt)	△69.8%
合計	売上高	148.6	157.9	+9.3	+6.3%
	営業利益(△損失) (率)	△1.3 (△0.9%)	2.1 (1.4%)	+3.5 (+2.3pt)	—%

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の情報です。

■ 電池事業の売上高は、ニッケル水素電池が海外の市販・工業・車載用途向けで増加、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わり増加、設備関連ビジネスが自動車関連設備で増加したことなどにより、前年同期に比べ16.7億円増加の121.1億円、セグメント利益は売上増、原材料価格の変動や円安効果も加わり、黒字化しました。

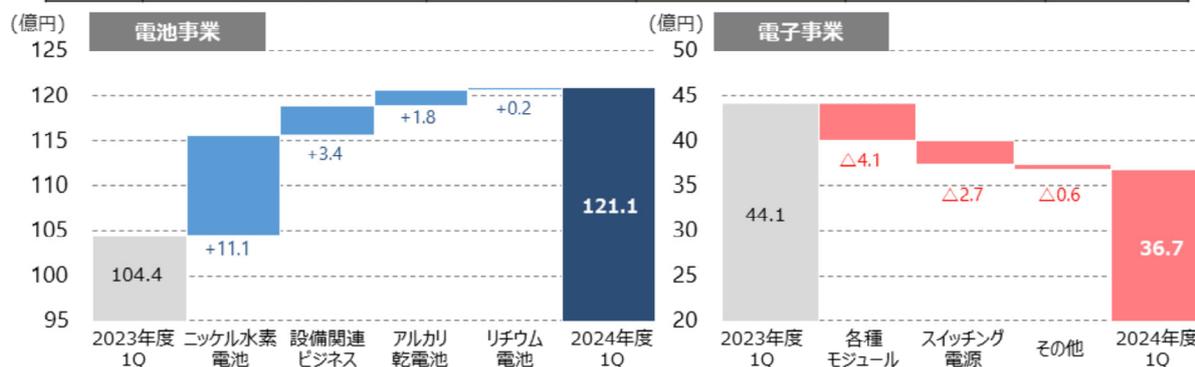
■ 電子事業の売上高は、各種モジュールやスイッチング電源などの売上減により、前年同期に比べ7.4億円減少の36.7億円、セグメント利益は売上減により、前年同期に比べ1.5億円減少の0.6億円となりました。

セグメント別情報(売上概況)

FDK

(単位：億円)

		2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年同期比	
				増減額	増減率
電池 事業	売上高	104.4	121.1	+16.7	+16.0%
	セグメント利益(△損失) (率)	△3.5(△3.4%)	1.5(1.3%)	+5.0(+4.7pt)	—%
電子 事業	売上高	44.1	36.7	△7.4	△16.8%
	セグメント利益(率)	2.2(5.0%)	0.6(1.8%)	△1.5(△3.2pt)	△69.8%
合計	売上高	148.6	157.9	+9.3	+6.3%
	営業利益(△損失) (率)	△1.3(△0.9%)	2.1(1.4%)	+3.5(+2.3pt)	—%



© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

次に、セグメント別の売上概況です。

- ニッケル水素電池は、海外の市販・工業・車載用途向けで増加したこと、BAOTOU FDK CO., LTD.の売上高や円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。
- 設備関連ビジネスは、自動車関連設備が増加したことにより、前年同期を上回りました。
- アルカリ乾電池は、前年同期を上回りました。

続いて、電子事業については、

- 各種モジュールは、モビリティ・タブレット用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。
- スイッチング電源は、半導体装置用途向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。

2024年度(通期)見通し

FDK

(単位：億円)

	2023年度 (実績)	2024年度 (予想)	前年度比	
				増減率
売上高	626.7	630.0	+3.2	+0.5%
営業利益 (営業利益率)	5.6 (0.9%)	10.0 (1.6%)	+4.3 (+0.7pt)	+75.9%
経常利益 (経常利益率)	7.2 (1.1%)	8.0 (1.3%)	+0.7 (+0.2pt)	+11.1%
当期純利益※ (当期純利益率)	1.2 (0.2%)	2.0 (0.3%)	+0.7 (+0.1pt)	+65.7%

※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり当期純利益	3.50円	5.80円	+2.30円
------------	-------	-------	--------

為替レート (円/1USD)	143.82円	140.00円	△3.82円
(円/1EUR)	156.24円	150.00円	△6.24円

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

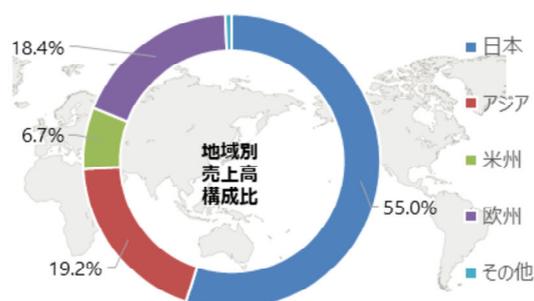
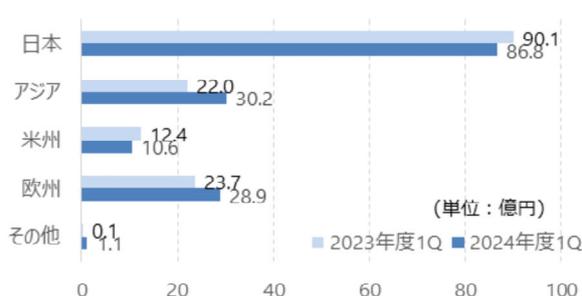
次に、2024年度の見通しです。

- 売上高は、630億円で3.2億円の増収。
- 営業利益は、10億円、純利益は2億円の見通しです。
- 為替レートは、1USDドル、140円、1ユーロ、150円を想定しております。

参考資料

地域別売上高

(単位：億円)	2023年度 1Q		2024年度 1Q		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
日本	90.1	60.7%	86.8	55.0%	△3.2	△3.6%
アジア	22.0	14.9%	30.2	19.2%	+8.1	+37.0%
米州	12.4	8.4%	10.6	6.7%	△1.8	△14.6%
欧州	23.7	16.0%	28.9	18.4%	+5.2	+22.0%
その他	0.1	0.1%	1.1	0.7%	+1.0	+800.0%
合計	148.6	100%	157.9	100%	+9.3	+6.3%
海外売上高比率	39.3%		45.0%			



※「地域別売上高」は顧客の所在地別売上を示しています

連結キャッシュ・フロー計算書

FDK

(単位：億円)	2023年度 1Q	2024年度 1Q	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	0.2	8.3	+8.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6.9	△9.7	△2.8
フリー・キャッシュ・フロー	△6.7	△1.3	+5.3
財務活動によるキャッシュ・フロー	11.3	2.1	△9.1
現金及び現金同等物の期末残高	31.7	39.8	+8.0

設備投資	3.7	6.2	+2.4
減価償却費	5.9	5.7	△0.1

© 2024 FDK CORPORATION

※0.1億円未満切り捨て

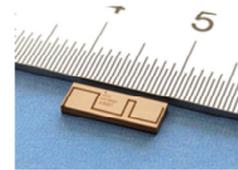
1) 電源バックアップ市場向け高耐久ニッケル水素電池「HR-AATU」のサンプル出荷開始

従来品比約60%の高容量化とJIS C 8708 MU規格に準拠した業界最高水準の長寿命を実現したニッケル水素電池「HR-AATU」を開発し、2024年4月からサンプル出荷を開始

**2) 世界最小「Bluetooth® Low Energyモジュール」の新製品「HY0021」のサンプル出荷開始**

世界最小クラスの「Bluetooth Low Energyモジュール」の第2弾として電波放射性能を向上、仕様見直しによりコストを削減した新製品「HY0021」を開発し、2024年7月下旬より国内顧客向けにサンプル出荷を開始予定

* : Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です

**3) 吉本新喜劇 防災アルカリ乾電池を発売**

今年65周年を記念する「吉本新喜劇」とコラボレーションし、すち子さん&吉田裕さんのキャラクターをデザインした防災アルカリ乾電池『防災備蓄せんのかい！乾電池』を2024年8月から順次、全国のホームセンター、スーパーマーケット、家電量販店などで限定販売



最後に、トピックスです。

■ 当社は、従来品比約60%の高容量化とJIS C 8708 MU規格に準拠した業界最高水準の長寿命を実現したニッケル水素電池「HR-AATU」を開発し、2024年4月からサンプル出荷を開始しました。

■ 当社は、世界最小クラスの「Bluetooth Low Energyモジュール」の第2弾として電波放射性能を向上、仕様見直しによりコストを削減した新製品「HY0021」を開発し、2024年7月下旬より国内顧客向けにサンプル出荷開始を予定しております。

■ 当社は、今年65周年を記念する「吉本新喜劇」とコラボレーションし、すち子さん&吉田裕さんのキャラクターをデザインした防災アルカリ乾電池『防災備蓄せんのかい！乾電池』を2024年8月から順次、全国のホームセンター、スーパーマーケット、家電量販店などで限定販売します。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料では、業績の概略として多くの数値は億円単位で表示しております。決算短信等で百万円単位で開示しております数値を切り捨て表示しているため、本資料に表示されてる合計額、差額などが不正確に見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信または四半期報告書を参照していただきますようお願いいたします。

FDK

確かな技術 育てる未来